

# 「探究の一宮」公開授業

岡山県立岡山一宮高等学校地歴公民科 川場 信之

## 「探究型授業」に向けての生徒の活動

- ① 世界の歴史の展開に関して理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べる→情報分析活用力
- ② 歴史に関わる事象の意味や意義を多面的、多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想する→論理的思考力に行動する力  
これらの活動を通じて、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者を育成する。

## 指導案・本時案、板書計画など

◆本時はナチス政権の成立を扱った。ナチス政権の成立、独裁の確立に際して、ドイツ国民、ドイツの諸政党がどのように行動したかを理解した上で、ナチス政権とその暴走を食い止める術はなかったのかについて考えさせたい。

特に留意したいのは、ナチスの政権奪取の際の諸政党の行動である。それぞれの政党は党の利害などに終始してナチスが全権委任法制定を阻止することができなかった。議会制民主主義の敗北がその後のユダヤ人迫害などを生み出すことを気づかせたい。そしてナチスの政権奪取の瞬間を考察することによって、現代に生きる我々が、どのような教訓を得ることができるのか、というところまで考えさせることを目的とする。

## 授業について探究の工夫

- ◆発問をできるだけ多くすること
- ◆選択する問いの増加
- ◆個人で考える時間を確保
- ◆あえて答えの出ない「もしも～ならば、どうするか」を聞くこと

## 教材研究・授業デザイン

◆ICTの活用については、できるだけ、画像資料を用いて、当時の雰囲気ができるようにした。

### ◆参考文献

石田勇治『ヒトラーとナチ・ドイツ』、講談社現代新書、2015年。  
吉永潤『社会科は「不確実性」で活性化する』、東信堂、2015年。